

せんえんせい
遷延性意識障害者・家族の会 九州「つくし」
3周年記念講演会

講師

黒岩 恭子 先生 プロフィール
村田歯科医院院長

和歌山県生まれ。1964年日本女子衛生短期大学卒業、歯科衛生士として出発後、歯科医師を志し1970年神奈川歯科大学を卒業。1975年神奈川県茅ヶ崎市に村田歯科医院を開業、現在院長。日常診療を行うかたわら、30数年前より地域の障がい児施設で、20数年前より在宅、施設、病院等で歯科診療、衛生指導などに当たる。試行錯誤の末、口腔環境の悪い口腔を誰でも簡単にケアできる「モアブラシ」をはじめとする口腔ケア用品「くるりナブラシ」シリーズを開発。口腔ケア・口腔リハビリで「食べられる口を作る」を一つのテーマとして活動。セミナー・講演も多数行っている。

主な著書に「新しい介護学 生活作りの食事ケア」、「誤嚥性肺炎を予防する口腔ケア」、「黒岩恭子の口腔リハビリ&口腔ケア」、「知っているとななる高齢者の介護 30」、「なぜ「黒岩恭子の口腔ケア&口腔リハビリ」は食べられる口になるのか」など多数。

遷延性意識障害者・家族の会 九州「つくし」について

私たちは、ある日突然不慮の事故や病気により脳に重大な損傷を受け、一命は取り留めたものの意識障害が遷延している（続いている）遷延性意識障害者とその家族の会です。遷延性意識障害者は、自力で動くことも、食べることも、話すことも、呼びかけに応じることができない、最重度の障害者です。家族は、病状や障害について大きな不安を抱えながら、転院先、リハビリテーションの制限、デイサービス・ショートステイの受け入れ制限など、医療・介護、制度上の様々な問題に直面し、将来への不安に苦しんでいます。そして24時間在宅介護で家の中で孤立状態にある家族、不安や疑問を相談できずに苦しんでいる家族も少なくありません。

そこで私たちは、2015年4月遷延性意識障害者・家族の会九州「つくし」を発足しました。「つくし」のように、厳しい冬から明るい春に向かって少しずつでも伸びていけるように、当事者家族同士が互いに支え助け合い、専門家に学び、一般の方々にもこの障害について理解してもらえるよう情報発信し、行政への働きかけなどを行い、当事者とその家族が安心して暮らせる社会を求めて活動しています。

多くの方々のお力添えを、心よりお願い申し上げます。

参加申込書 (FAX:092-526-0616)

▶電話、メールでの申し込みも受け付けております

参加をご希望される欄に○をお願いします。※必須

どちらかの欄に○をお願いします。※必須

講演会	セミナー	懇親会	会員 (家族、賛助、ボランティア)	一般	当事者・家族	その他
------------	-------------	------------	-----------------------------	-----------	--------	-----

※セミナー参加者は、フェイスタオル1枚、500mlの空のペットボトル、ポケットティッシュ3袋、洗濯ばさみ2個をご持参ください。

フリガナ	所属(医療介護・福祉関係の方)
お名前	
ご住所 〒	電話番号
	FAX 番号
	E-mail

【お申し込み・お問い合わせ先】

遷延性意識障害者・家族の会 九州「つくし」
 TEL:080-8562-0171(代表:谷口) FAX:092-526-0616
 E-mail:kyusyu.ishiki@gmail.com

* 入会、賛助会員随時受付中、下記にお問い合わせ下さい。

遷延性意識障害者・家族の会 九州「つくし」

代表:谷口 正春 Tel.080-8562-0171 Fax.092-526-0616 E-mail:kyusyu.ishiki@gmail.com

facebookページ▶<https://www.facebook.com/senensei.kyushu.tsukushi>



Tsukushi
 遷延性意識障害者・家族の会 九州
 「つくし」